

# CASBEE神戸ver.3

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE神戸ver.3/CASBEE建築（新築）2016年版 | 使用評価ソフト：CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川崎重工業株式会社 西神戸工場	階数	地上10F
建設地	兵庫県神戸市西区榎谷町松本字下名	構造	S造
用途地域	工業専用地域・法22条の地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年7月1日
敷地面積	142,972 m <sup>2</sup>	作成者	笠原 恒孝
延床面積	1,622 m <sup>2</sup>	確認日	2022年7月1日
延床面積	15,013 m <sup>2</sup>	確認者	笠原 恒孝



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>BEE = 3.0</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>②建築物の取組み 73%</p> <p>③上記+②以外の 73%</p> <p>④上記+ 73%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.4</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.4</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.9</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア = 3.1</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 4.2</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 4.3</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 4.2</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.9</p>

3 CASBEE神戸の重要項目		
<p><b>バリアフリー計画</b></p> <p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p>3.0</p>	<p><b>建築物の耐震性等</b></p> <p>Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p>4.8</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p>3.2</p>	<p><b>まちなみ・景観への配慮</b></p> <p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p>4.0</p>
<p>配慮の概要</p> <p>0</p>	<p>配慮の概要</p> <p>0</p>	<p>配慮の概要</p> <p>0</p>
<p>その他の配慮事項</p> <p>0</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい